

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 わたしはふしぎでたまらない ・ふしぎ ・桜蝶 ・言葉の単位 ・お気に入りの一品を紹介する	9	<ul style="list-style-type: none"> ●文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。 ●伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。 ●文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 ○すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝えたいことを話そうしたり、それを聞いて感想を述べたりしようとしている。
二 これは脳がもともと持っている癖です ・自分の脳を知っていますか ・資料から得た根拠をもとに意見文を書く ・漢字の部首 ・日本語の音声 ・内容を整理して説明する	18	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の中心的な部分に着目し、内容を捉える。 ●文章の構成を捉え、要約に生かす。 ●資料を比較して共通点と相違点を見つける。 ●考えの中心を明確にして、段落構成を考える。 ●漢字の部首についての理解を深める。 ●日本語の音の特徴を理解する。 ●聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。 ●相手の反応を見ながら、話す内容を工夫して伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ○音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。 ○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ○「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に必要な情報に着目して要旨を捉えるとともに、学習課題にそって文章にまとめようとしている。 ○粘り強く引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、学習課題にそって図表などを引用して考えたことを書こうとしている。 ○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 ○積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。 ○粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。
三 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た ・ペンチ ・全ては編集されている ・画数と活字の字体 ・材料を整理して案内文を書く	12	<ul style="list-style-type: none"> ●本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。 ●写真を見るときの観点を知り、写真の特徴を理解する。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。 ●画数と活字の字体についての理解を深める。 ●集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ●目的や意図を意識して、案内文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。 ○粘り強く情報の整理の仕方についての理解を深めるとともに、学習課題にそって創作しようとしている。 ○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 ○すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。

<p>四 森と川と海は一つなのだ ・持続可能な未来を創るために ・森には魔法つかいがある ・文の成分 ・根拠を明確にして意見文を書く</p>	<p>18</p> <ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 ●必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ●問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ●筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。 ●主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 ●意見と根拠の関係を理解する。 ●根拠をはっきりさせて、意見文を書く。 ●広告を見るとき視点を知り、広告の特徴について理解する。 ●目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ○事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ○文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、これまでの学習を生かして本や資料をもとに考えたことを書こうとしている。 ○すすんで文の成分の順序や照応について理解し、これまでの学習を生かして文の構成について理解を深めようとしている。 ○積極的に文章の構成について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことを書こうとしている。 ○すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。 ○積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見直しをもって伝えるべき事を整理して書こうとしている。
<p>五 今は昔、竹取の翁といふ者ありけり ・昔話と古典 ・物語の始まり ・故事成語 ・蜘蛛の糸</p>	<p>11</p> <ul style="list-style-type: none"> ●古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。 ●古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ●『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。 ●いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ●漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。 ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○古典には様々な種類の作品があることを知っている。 ○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 ○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、学習の見直しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 ○積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見直しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。 ○すすんで読書が考えを広げること役立つことを理解し、これまでの学習を生かして小説を読んで考えたことを記録しようとしている。
<p>六 白象は寂しく笑ってそう言った ・河童と蛙 ・オツベルと象 ・随筆を書く ・日本語の文字</p>	<p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場面と描写を結びつけて読む。 ●語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ●場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ○音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。 ○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。 ○粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 ○粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見直しをもって随筆を書こうとしている。 ○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、これまでの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。

<p>七 子どもは、一人の人間として、大人と同じように人権をもっています</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利 ・調べた内容を聞く ・漢字の音と訓 	<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ●論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ●自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。 ●自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ●相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉える。 ●漢字の音と訓についての理解を深める。 	<p>○事象や行為を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かかなものにしていく。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>○粘り強く自分の考えを確かかなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>○積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。</p> <p>○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
<p>八 ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がつかなく世界遺産 ・地域から世界へ ・読み手を意識して報告分を整える ・発言を結びつけて話し合う ・単語のいろいろ ・熟語の構成 	<p>19</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●問いと答え、事実と意見の関係捉える。 ●事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ●筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。 ●要点を簡潔にまとめる。 ●読み手の立場に立って、文章を整える。 ●自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。 ●話題を意識して話し合い、発言を結びつける。 ●いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。 ●漫画の表現の特徴について理解する。 ●漫画の中の絵と言葉との関係捉え、読み手に対する効果を考える。 ●熟語の構成の基本的な型を知る。 	<p>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している</p> <p>○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>○単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。</p> <p>○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。</p> <p>○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p> <p>○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。</p>	<p>○すすんで理解したことに基づいて考えを確かかなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。</p> <p>○積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。</p> <p>○すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。</p> <p>○すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。</p> <p>○すすんで必要な情報に着目するとともに、学習課題にそって集めた情報を活用しようとしている。</p> <p>○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
<p>九 「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季の詩 ・少年の日の思い出 ・方言と共通語 	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。 ●語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 ●場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。 ●語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かかなものにする。 ●方言と共通語の特徴について知る。 	<p>○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解して使っている。</p> <p>○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>○共通語と方言の果たす役割について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p> <p>○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かかなものにしていく。</p>	<p>○すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。</p> <p>○粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、学習の見通しをもって小説を読んで考えたことを記録しようとしている。</p> <p>○すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。</p>

<p>* 書写</p>	<p>20</p>	<p>●文字の字形を整えること、紙面全体に対してそれぞれの文字の大きさや書くべき位置を考えて調和的に割り当てること、行と行の間の空け方などについての方法や効果を理解する。 ●字形の整え方、運筆の際の筆圧のかけ方、筆脈を意識した点画のつながりなどの行書の特徴に気づく。</p>	<p>○字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 ○漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。</p>	<p>○字の大きさや配列を工夫しながら、すすんで書こうとしている。 ○粘り強く字形を整えて書こうとしている。 ○行書の特徴を意識しながら、すすんで書こうとしている。</p>
-------------	-----------	---	---	--

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 かすかな潮のにおいはそこにもあった。 ・虹の足 ・質問する力をつける ・タオル ・文法の小窓1 活用のない自立語 ・新聞の投書を書く ・漢字の広場1 まちがえやすい漢字	15	●見えている「虹の足」とおして、見えていない「虹の足」について考える。 ●伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。 ●文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 ●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。 ●少年の気持ちの変化を捉え、表現の効果を考える。 ●活用のない自立語のはたらきを理解する。 ●多様な方法で材料を集める。 ●社会生活の中から題材を選んで書く。 ●似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。 ○積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。 ○積極的に活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。 ○繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
二 富士山に降った大量の雨は、どこへ行ってしまったのだろうか。 ・日本の花火の楽しみ ・水の山 富士山 ・説得力のある提案をする ・言葉の小窓1 敬語 ※構成を明確にして手紙を書く	16	●敬語のはたらきや特徴について知る。 ●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●花火の魅力について、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 ●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 ●話の構成を効果的に組み立てて話す。 ●根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。	○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。 ○話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。	○「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ○「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ○「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	○粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べ文章を書くようとしている。 ○積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって考えを述べようとしている。 ○粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。 ○積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書くようとしている。
三 神様はその人に乗り越えられない試練は与えない。 ・夢を跳ぶ ・言葉の小窓2 ・話し言葉と書き言葉 ・観点を明確にして伝える ・SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する ・漢字の広場2 漢字の成り立ち	9	●自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。 ●話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。 ●集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ●図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。 ●小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ●小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書きかえる。 ●漢字の成り立ちについての理解を深める。	○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ○話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 ○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を効果的に用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	○すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。 ○粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。 ○積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。 ○すすんで文章を比較するなどし、学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。 ○繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

<p>四 紙管の工場は、世界中のどこにもある。 ・持続可能な未来を創るために———不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味 ・紙の建築 ・根拠をもとに意見文を書く ・文法の小窓2 活用のある自立語</p>	<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。 ●事例の役割や効果を確かめながら読む。 ●事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 ●筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 ●多様な考え方が問題について根拠をもとに推論して考える。 ●考えの理由づけを示して意見文を書く。 ●用言の活用と種類・用法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解使っている。 ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○単語の活用について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ○「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見直しをもって議論しようとしている。 ○すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。 ○積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見直しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。 ○粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
<p>五 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。 ・敦盛の最期 ・随筆の味わい ・二千五百年前からのメッセージ ・坊っちゃん</p>	<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ●文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。 ●古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ●言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。 ●表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ●文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。 ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ○現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。 ○粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。 ○すすんで内容を解釈し、複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。
<p>六 もはや逃げ場所はないのだ ・短歌の味わい ・夏の葬列 ・映像作品の表現を考える ・漢字の広場3 漢字の多義性</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。 ●人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 ●時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について考えを深める。 ●絵コンテを構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ●漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。 ●漢字の多義性についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解使っている。 ○多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ○「書くこと」において、読み手量の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 ○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開(時間の流れや場面の展開)、表現の効果について考えている。 ○「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。 ○粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。 ○積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見直しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。 ○すすんで漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
<p>七 鯨や象のもつ「知性」は、いわば「受容的な知性」とでも呼べるものだ。 ・ガイアの知性 ・記事を書く ・相違点を明確にして聞く</p>	<p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> ●筆者が用いる語句の意味を捉える。 ●筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ●自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。 ●情報がわかりやすく伝わるように、文章や見せ方を工夫する。 ●論理の展開などに注意しながら聞く。 ●話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ○「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しな 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで主張と例示の関係について考え、学習の見直しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。 ○積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見直しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。 ○積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見直しをもって対話しようとしている。

<p>八「学ぶ力」は他人と比べるものではなく、個人的なもの。 ・学ぶ力 ・よりよい結論を導く討論をする ・文法の小窓3 付属語のいろいろ</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ●筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ●本文の「述べ方」や表現の工夫に着目し、筆者の主張を捉える。 ●本文から捉えたことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけ、考えを広げたり深めたりする。 ●結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。 ●付属語にはどのようなものがあるのかを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○助詞や助動詞などはたらしきについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見直しをもって考えたことを説明しようとしている。 ○積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見直しをもって討論しようとしている。 ○助詞・助動詞に興味・関心を抱き、助詞・助動詞のはたらしきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
<p>九 訳のわからぬ大きな力 ・豚 ・走れメロス ・言葉の小窓3 類義語・対義語・多義語・同音語 ・「連作ショートショート」を書く ・漢字の広場4 同音の漢字</p>	<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> ●詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。 ●抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ●人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 ●登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。 ●日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。 ●表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ●物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。 ●同音の漢字についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで内容を解釈し、学習の見直しをもって考えたことを説明しようとしている。 ○すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。 ○粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。 ○積極的に表現の効果を考え、学習の見直しをもって物語を創作しようとしている。 ○すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 私が「私」であるということ ・春に ・立ってくる春 ・なぜ物語が必要なのか ・一言でまとめ一言から広げる ・私	12	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の種類を踏まえ、その展開の仕方に着目して、筆者の個人的な考えを捉える。 ●文章の種類と特徴について理解を深める。 ●知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。●言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。 ●読書が自分と社会との関わりを支えている、ということを理解する。 ●文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。 ○積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。 ○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
二 写真からは「美しく撮る」という明確な意志が感じられた ・薔薇のボタン ・構成を考えて主張をまとめる ・メディア・リテラシーはなぜ必要か？／新聞が伝える情報を考える ・呉音・漢音・唐音 助詞のはたらき	10	<ul style="list-style-type: none"> ●目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。 ●社会生活の中から自分で課題を見つけ、主張をまとめる。 ●自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。 ●新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。 ●漢字の音の歴史についての理解を深める。 ●助詞のはたらきについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○助詞のはたらきについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 ○すすんで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、学習の見通しをもって主張しようとしている。 ○粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 ○粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
三 人工知能の進化によって、そのような「知性」観の見直しが迫られている。 ・AIは哲学できるか ・具体例をもとに説明文を書く ・熟字訓 ・和語・漢語・外来語	12	<ul style="list-style-type: none"> ●「哲学」など、筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ●事例や主張が適切かを考えながら読む。 ●文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。 ●具体的な事例をもとに一般的な特徴を導く。 ●読み手に説明するために構成を工夫する。 ●熟字訓についての理解を深める。 ●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。 ○積極的に文章の種類を選択し、学習の見通しをもって発表のための資料を作成しようとしている。 ○粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 ○粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

<p>四 このピアノは、自然が調律した元の形に戻ろうとしたのだ</p> <ul style="list-style-type: none"> • async • 問いかける言葉 • 説得力のある批評文を書く • 助動詞のはたらき • 相手に対する配慮と表現 • ニュースで情報を編集する • 実用文を読む 	<p>17</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 ●資料を比較して、自分の考えを整理する。 ●伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。 ●助動詞のはたらきについて理解する。 ●場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。 ●ニュースを構成する情報について整理し、それぞれの効果について考え、効果的に使う。 ●実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ○助動詞などはたらきについて理解している。 ○敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ○「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 ○粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。 ○積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。 ○粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。 ○粘り強く相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。 ○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、学習の見通しをもってニュースの形式にまとめようとしている。 ○積極的に論理の展開を捉え、今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。
<p>五 月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり</p> <ul style="list-style-type: none"> • 旅への思い • 和歌の調べ • 風景と心情 • 最後の一句 • 異字同訓 • 慣用句・ことわざ 	<p>14</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。 ●古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。 ●歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。 ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 ●異字同訓についての理解を深める。 ●慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 ○粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 ○粘り強く慣用句などについて理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
<p>六 地上の道のようなもの</p> <ul style="list-style-type: none"> • 俳句の味わい • 初恋 • 故郷 • 自己PR文を書く • 表現の工夫を評価してスピーチをする • 四字熟語 	<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> ●言葉の意味を掘り起こして読む。 ●表現上の工夫に注意して、暗唱する。 ●理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ●「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。 ●読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ●読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。 ●相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ●場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。 ●四字熟語についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 ○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ○「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。 ○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。 ○粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。 ○積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって主張しようとしている。 ○粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

<p>七 生命は、恒常的に見えて、いづれも一回性の現象である</p> <p>・持続可能な未来を創るために一人間の生命・存在を考える／生命とは何か／地球は死にかかっている／水の星</p> <p>・意見を共有しながら話し合う</p> <p>・情報をまとめて作品集を作る</p>	<p>9</p>	<p>●持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。</p> <p>●相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。</p> <p>●話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。</p> <p>●自分の文章の収集と整理をする。</p> <p>●学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。</p>	<p>○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>○「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。</p> <p>○積極的に相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。</p> <p>○積極的に今までの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。</p>
<p>八 人間というのは、どこまでいっても自分以外にはなれないものだ</p> <p>・バースデー・ガール</p> <p>・青春の歌</p> <p>・やわらかな想い</p>	<p>4</p>	<p>●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。</p>	<p>○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p>	<p>○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p> <p>○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして批評しようとしている。</p> <p>○すずんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>
<p>書写</p> <p>一 行書を深めよう</p> <p>二 行書と仮名を調和させて書こう</p> <p>三 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう</p>	<p>10</p>	<p>●行書の特徴について理解を深め、筆使いに気をつけて書く。</p> <p>行書で学習したことを、日常生活に生かす。</p> <p>●行書と仮名を調和させて書き、行書で学習したことを、学習活動や日常生活に生かす。</p> <p>●これまでに身につけてきた書写力を生かして、「卒業」をテーマに、語句や文、表現形式を選んで卒業の記念制作に取り組む。</p>	<p>○点画の変化と連続、次の文字への筆脈、行書と仮名の調和を理解し、書いている。</p> <p>○身のまわりで見かける、文字の表現効果について理解している。</p>	<p>○行書と仮名を調和よく書く書き方を確かめ、自己の課題を考えている。</p>	<p>○行書と仮名を調和よく書く書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。</p>

教科	社会(地理的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一部世界と日本の地域構成 第一章世界の姿	6	地図帳や地球儀を活用して、私たちの住む地球を眺めて、大陸と太陽の分布、いろいろな国の国名と位置、緯度と経度、地球儀と世界地図の違いから、世界の大まかな構成を捉えさせる。	世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度の仕組みを理解したり、地図帳の統計資料や索引を活用している。	国名や国旗、国境線の特徴から、その国の歴史や文化が分かることや、様々な種類の世界地図の特徴を考察できる。	地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。
第一部世界と日本の地域構成 第二章日本の姿	6	地図帳や地球儀を活用して、世界の中での日本の位置、日本の領域とその特色、都道府県と県庁所在地から、日本の範囲や地域構成をとらえさせる。	世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができるようにする。	世界の中での日本の位置や広がりや日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察できる。	世界の中での日本の位置や広がりについて関心を持ち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域 第一章人々の生活と環境	10	世界の様々な生活と環境、暑い地域の暮らし、乾燥した地域の暮らし、温暖な地域の暮らし、寒い地域の暮らし、高地の暮らし、世界各地の衣食住とその変化、人々の生活と宗教の関わりから、世界各地の人々の多様な生活と環境を捉えさせる。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察できる。	世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心を持ち、主体的に追究しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域 第二章世界の諸地域 第一節アジア州	9	アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているのか、捉えさせる。	多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。	アジア州の国々が、急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結びつきなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。	急激な人口増加とk理財発展が、アジア州に暮らす人々の与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域 第二章世界の諸地域 第二節ヨーロッパ州	7	国同士の結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのか、捉えさせる。	ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性について理解している。	国どうしや他地域との結びつきに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心を持ち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。
第二部世界のさまざまな地域 第二章世界の諸地域 第三節アフリカ州	4	特定の産物に頼る経済が、地域にどのような影響を与えているのか、捉えさせる。	アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。	輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追及し、その問題点を多面的・多角的に考察している。	ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。

<p>第二部世界のさまざまな地域 第二章世界の諸地域 第四節北アメリカ州</p>	<p>5</p>	<p>アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達した結果、地域にどのような影響が生じているのか、捉えさせる。</p>	<p>世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。</p>	<p>北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。</p>	<p>世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>第二部世界のさまざまな地域 第二章世界の諸地域 第五節南アメリカ州</p>	<p>5</p>	<p>農地や鉱山の開発が進むことによって、地域にどのような影響が生じているのか、捉えさせる。</p>	<p>多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを本文や資料から調べ、まとめている。</p>	<p>ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。</p>	<p>近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究しようとしている。</p>
<p>第二部世界のさまざまな地域 第二章世界の諸地域 第六節オセアニア州</p>	<p>3</p>	<p>他地域との関係が変化してきたことによって、地域にどのような影響が生じているのか、捉えさせる。</p>	<p>オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。</p>	<p>オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。</p>	<p>オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>第三部日本のさまざまな地域 第一章身近な地域の調査</p>	<p>3</p>	<p>調査テーマを決めよう、調査方法を考えよう、野外調査を実行しよう、調査を深めて結果を発表しようの手順と手法を基に、身近な地域の調査を捉えさせる。</p>	<p>地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。</p>	<p>対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取り上げ、それらを多面的・多角的に考察している。多面的・多角的に調査、考察している。</p>	<p>対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。</p>

教科	社会(歴史的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 歴史のとらえ方・調べ方	1	<ul style="list-style-type: none"> 時代や年代の読み取り方を理解させ、歴史を学習する際の基礎を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の人物、出来事などについて考える活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の人物、出来事などについて考える活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第2章 原始・古代の日本と世界 <ul style="list-style-type: none"> 人類の出現と文明のおこり 日本の成り立ちと倭の王権 大帝国の出現と律令国家の完成 貴族社会の発展 	24	<ul style="list-style-type: none"> 人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことや、宗教がおこったことを理解する。 それぞれの古代文明には、農耕や牧畜を基盤にして築かれたこと、文字の使用、国家がおこったことなど、共通する特色があることを理解する。 日本列島での農耕の広まりによる人々の生活の変化に気づき、国家が形成されていく過程のあらましを東アジアとのかかわりを通して理解する。 日本では、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら、国家のしくみが整えられたことを理解する。 天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展していったことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 日本列島における農耕の広まりと、生活の変化や人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立を基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目し、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第3章 中世の日本と世界 <ul style="list-style-type: none"> 武家政治の始まり ユーラシアの動きと武家政治の変化 結びつく民衆と下剋上の社会 	15	<ul style="list-style-type: none"> 武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が次第に全国に広まったことを理解する。 13世紀ごろの世界では、ユーラシア大陸に広がるモンゴル帝国が成立し、東西の貿易や文化交流が盛んになったことを理解する。 南北朝の争乱や室町幕府の成立について、東アジア世界との密接な関りとともに理解する。 応仁の乱後の社会的な変動や戦国の動乱などから、武家政治の展開について理解する。 農業などの諸産業が発達し、畿内を中心とした都市や農村に自治的なしくみが成立したことを理解するとともに、室町文化には禅宗の影響や現在との結びつきがみられることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の成立、元寇などを基に、武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関りが見られたことを理解している。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 中世までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 校外学習と関連付けて仏教についての知識を深めようとしている。

<p>第4章 近世の日本と世界 ・結びつく世界との出会い ・天下統一への歩み</p>	<p>7</p>	<p>・14～16世紀のヨーロッパでは、ルネサンスや宗教改革、アジアへの新航路の開拓などの動きがおこり、ヨーロッパ諸国が貿易や布教などを目的に世界各地へ進出していったことを理解する。 ・ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について考える。 ・織田信長・豊臣秀吉による全国の統一事業や、朝鮮への出兵などの対外関係についてとらえ、近世社会の基礎がつけられていったことを理解する。 ・海外から南蛮文化などが取り入れられる一方で、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪壮・華麗な文化が生み出されたことを理解する。</p>	<p>・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。</p>	<p>・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(エ)までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
--	----------	--	--	--	--

教科	社会(歴史的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第4章 近世の日本と世界 ・幕藩体制の確立と鎖国 ・経済の成長と幕政の改革	11	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子をとらえ、幕府の政治の特色について考える。 江戸幕府により、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりについてとらえ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 貨幣経済の広まりや百姓一揆などの農村の変化、江戸幕府の政治改革について理解するとともに、新しい学問・思想の動きに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(エ)までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第5章 日本の近代化と国際社会 ・近代世界の確立とアジア ・開国と幕府政治の終わり ・明治維新と立憲国家への歩み ・激動する東アジアと日清・日露戦争 ・近代の産業と文化の発展	24	<ul style="list-style-type: none"> 欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させたことを理解する。 近代社会を成立させた欧米諸国が、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出したことについて考える。 社会の変動や欧米諸国の接近に対する江戸幕府の対応・政治改革についてとらえ、幕府政治がしだいに行き詰まりをみせたことを理解する。 幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。 新政府による政治の改革や、富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の動きについてとらえ、明治維新により近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 自由民権運動や大日本帝国憲法の制定をとらえ立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。 条約改正の歩みや日清・日露戦争についてとらえ、日本の国際的地位が向上したことを、大陸との関係と関わらせて理解する。 日清・日露戦争を通じて日本をとりまく国際関係が変化したことを考える。 産業革命により日本で近代産業が発展したことと、それによる社会の変化について理解する。 学問・教育・科学・芸術の発展を背景に近代文化が形成されたことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

<p>第6章 二度の世界大戦と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と民族独立の動き ・大正デモクラシー 	<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦前後の国際情勢を背景に、日本の国際的地位の変化や大正時代の政党政治の発達、民主主義思想の普及、社会運動の動きを通して日本国民の政治的自覚が高まったことを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
---	-----------	--	--	---	--

教科	社会(地理的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第三部日本のさまざまな地域 第一章身近な地域の調査	2	調査テーマを決めよう、調査方法を考えよう、野外調査を実行しよう、調査を深めて結果を発表しようの手順と手法を基に、身近な地域の調査を捉えさせる。	地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。	対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取り上げ、それらを多面的・多角的に考察している。多面的・多角的に調査、考察している。	対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。
第三部日本のさまざまな地域 第二章日本の地域的特色	12	山がちな日本の地形、川がつくる地形と海岸や海洋の特色、日本の気候、日本のさまざまな自然災害、自然災害に対する備え、日本の人口、日本の資源・エネルギーと電力、日本の農業・林業・漁業とその変化、日本の商業・サービス業、日本の交通網・通信網、さまざまな地域区分から、日本の地域的特色をとらえさせる。	日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。	日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。	自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている。
第3章 日本の諸地域 ・九州地方 ・中国、四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	41	・日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかの視点に注目して地域的特色をとらえさせる。	・日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。	・日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の諸地域の地域的特色に対する関心をもち、それらを意欲的に追究しようとしている。
第4章 地域の在り方	3	・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けるようにする。 (1) 地域の実態や課題解決のための取組を理解できる。 (2) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解できる。 (3) 地域の在り方を、地域の結びつきや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	・地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。	・地域の在り方を、地域の結びつきや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

教科	社会(地理的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
第3章 日本の諸地域 ・東北地方 ・北海道地方	10	・日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかの視点に注目して地域的特色をとらえさせる。	・日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
第4章 地域の在り方	3	・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けるようにする。 (1) 地域の実態や課題解決のための取組を理解できる。 (2) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解できる。 (3) 地域の在り方を、地域の結びつきや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	・地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に注目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>日本の諸地域の地域的特色に対する関心をもち、それらを意欲的に追究しようとしている。</p>
<p>・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

教科	社会(歴史的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第6章 二度の世界大戦と日本 ・恐慌から戦争へ ・第二次世界大戦と日本の敗戦	11	<ul style="list-style-type: none"> 昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを、東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目させながら、経済の混乱、軍部の台頭、戦争の経緯と対戦の惨禍を理解させる。 戦時下の国民生活をなるべく身近に感じさせるとともに、戦争の惨禍にも目を向けさせ、関心や態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第7章 現代の日本と世界 日本の民主化と冷戦 世界の多極化と日本 冷戦の終結とこれからの日本	12	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程について理解する。 冷戦の始まりや朝鮮戦争などの世界の動きのなかで、新しい日本の建設が進められたことを理解する。 ベトナム戦争や中東戦争などの世界の動きを背景に、日本の高度経済成長が石油危機により終焉するまでの過程について、安保改定・沖縄返還・日中国交正常化などの国際社会との関わりのなかで理解する。 日本の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上したことを理解する。 冷戦終結後の変動する世界と日本の動きについてとらえ、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解する。 環境・人権・平和などをめぐる様々な課題が残されていることに気づき、これからの未来をひらくためにどのように社会と関 	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 高度経済成長、国際社会との関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。 冷戦の終結、国際社会との関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の展開と国際社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、国民生活への影響と国際平和の実現への努力などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 冷戦下の国際社会の中における日本の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 冷戦終結後の変動する世界と日本の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 現代社会と私たち	14	<ul style="list-style-type: none"> 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解させる。 現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現させる。 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。 人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、「ちがいのちがいを追究しよう」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
第2章 個人の尊重と日本国憲法	14	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。 民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させる。 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、「ちがいのちがいを追究しよう」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
第3章 現代の民主政治と社会	23	<ul style="list-style-type: none"> 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。 議院制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解させる。 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、表現させる。 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 議院制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について「S市の市長になって条例を作る」などの対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
第4章 私たちの暮らしと経済	30	<ul style="list-style-type: none"> 身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させる。 市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解させる。 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解させる。 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な消費生活を中心に、経済活動の意義について理解している。 市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

<p>第5章 地球社会と私たち</p>	<p>18</p>	<p>・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際、領土(領海,領空を含む。),国家主権,国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。 ・地球環境,資源・エネルギー,貧困などの課題の解決のために経済的,技術的な協力などが大切であることを理解させる。 ・対立と合意,効率と公正,協調,持続可能性などに着目して,日本国憲法の平和主義を基に,我が国の安全と防衛,国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察,構想し,表現させる。 ・世界平和と人類の福祉の増大について,現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み,主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには,国際協調の観点から,国家間の相互の主権の尊重と協力,各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際,領土(領海,領空を含む。),国家主権,国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ○地球環境,資源・エネルギー,貧困などの課題の解決のために経済的,技術的な協力などが大切であることを理解している。</p>	<p>○対立と合意,効率と公正,協調,持続可能性などに着目して,日本国憲法の平和主義を基に,我が国の安全と防衛,国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察,構想し,表現している。</p>	<p>○世界平和と人類の福祉の増大について,現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み,主体的に社会に関わろうとしている。</p>
<p>終章 より良い社会を目指して</p>	<p>5</p>	<p>・社会的な見方・考え方を働かせ,私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察,構想し,自分の考えを説明,論述させる。 ・私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について,現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み,主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>○持続可能な社会の考えについて,これまでの公民的分野での学習を踏まえて,理解を深めている。 ○環境・エネルギー,人権・平和,伝統・文化,防災・安全,情報・技術などに関わる課題を解決することが,持続可能な社会の形成に必要であることを理解している。</p>	<p>○社会的な見方・考え方を働かせ,私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察,構想し,自分の考えを説明,論述している。</p>	<p>○私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について,現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み,主体的に社会に関わろうとしている。</p>

教科	数学	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
0章 算数から数学へ [整数の性質]	3	<ul style="list-style-type: none"> ・九九表の数の並びから、いろいろなきまりを見いだし、説明することができる。 ・自然数をいくつかの数の積で表すことよきや素因数分解の意味を理解する。 ・素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然数をいくつかの数の積で表すと、もとの数の約数や、もとの数がどんな数の倍数であるかがわかることを理解している。 ○素因数分解の意味を理解している。 ○素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○九九表の数の並びから、いろいろなきまりを見いだし、説明することができる。 ○九九表を縦2ます、横2ますの正方形で囲むと、斜めの数どししの積が等しくなる理由を考え、説明することができる。 ○九九表の数を素因数分解した結果から、九九表の数が1と素数の2, 3, 5, 7の積だけでつくられていることを見いだし、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだそうとしている。
1章 数の世界を広げよう [正負の数]	25	<ul style="list-style-type: none"> ・正負の数の必要性と意味を理解する。 ・正負の数の四則計算をできるようにする。 ・身のまわりの問題を、正負の数を利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正負の数の必要性と意味を、具体的な場面と結び付けて理解している。 ○正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ○具体的な場面で正負の数を使って表したり処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数で学習した四則計算と関連付けて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 ○身のまわりの具体的な場面で、正負の数を利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正負の数の必要性と意味を理解し、よきに気付けて粘り強く考える。 ○正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2章 数学のこぼれを身につけよう [文字と式]	18	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いることの必要性と意味を理解し、具体的な数量を、文字を使った式で表すことができる。 ・文字を使った式の規約を理解し、それに沿って計算ができるようにすること。 ・等式、不等式の意味を理解し、数量の間の関係を等式や不等式で表したり、等式や不等式が表す数量の関係を読み取りたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を用いることの必要性と意味を理解している。 ○1次式の四則の計算方法を理解し、計算ができる。 ○いろいろな整数を文字を用いた式で表したり、式が表す数を読み取りたりすることができる。 ○数量の間の関係を等式や不等式で表し、読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な場面と関連づけて、1次式の加法・減法の計算方法を考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を用いることよきに気付けて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式]	14	<ul style="list-style-type: none"> ○求めたい数量がある問題を、既習の内容を活用して解決することを通して、方程式の必要性を理解する。 ○方程式とその解の意味を理解し、文字に値を代入して解を求めたり、等式の性質を使って方程式を解いたりすることができる。 ○具体的な問題を、方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○方程式とその解の意味、必要性を理解している。 ○等式の性質や移項の意味を理解し、それらを使って方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○等式の性質を使って方程式を解く過程を振り返って、移項の考えを見いだし、説明することができる。 ○方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1次方程式のよきに気付けて粘り強く考えることができる。 ○方程式を生活や学習の具体的な問題の解決に利用しようとしている。 ○方程式を活用した問題解決の過程を振り返ってその手順を検討しようとしている。
4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう [比例と反比例]	14	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの問題を、関数の考えを利用して解決することができる。 ・関数の意味を理解する。 ・具体的な事象の中から2つの数量に着目し、それらの変化や対応を表、グラフ、式を用いて調べることによって関数関係を明らかにする。また、問題解決に活用できるようにする。 ・身のまわりの問題を、比例のグラフを利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関数関係の意味を理解している。 ○比例・反比例について理解している。 ○座標の意味を理解している。 ○比例・反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比例・反比例として伝えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ○具体的な事象の中の数量の関係を比べてみて、そのグラフを利用して問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比例・反比例のよきに気付けて粘り強く考えている。 ○関数の考えを生活や学習に生かそうとしている。 ○反比例について学んだことを生かして、問題解決の過程を振り返り検討しようとしている。
5章 平面図形の見方をひろげよう [平面図形]	17	<ul style="list-style-type: none"> ・平行移動、回転移動、対称移動の意味とその性質を理解する。 ・2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉え、説明することができる。 ・作図における定規コンパスの役割と使い方を理解し、簡単な作図ができる。 ・垂線、垂直二等分線、角の二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。 ・身のまわりにあるものを円とみなして、その円を等分してできるおうぎ形に着目し、弧の長さや面積が中心角に比例することを理解し、弧の長さや面積を求めることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平行移動、対称移動、回転移動の意味とその性質を理解し、ある図形を移動させた図形をかくことができる。 ○垂線、垂直二等分線、角の二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現し、表現することができる。 ○図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し表現することができる。 ○基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平面図形の性質や関係を捉えることよきに気付けて粘り強く考えようとしている。 ○移動や作図やおうぎ形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
6章 立体の見方をひろげよう [空間図形]	18	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元空間での事象に関する問題を、具体的な空間図形の問題として捉える。 ・空間図形の問題を解決するために都合の良い模型を作り、いろいろな向きから観察する。 ・解決に都合のよい平面図形を見いだし、目的に応じて見取図や展開図、投影図などに表す。平面上に表された空間図形の性質を読みとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空間にある平面や直線の位置関係を理解している。 ○おうぎ形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を表面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 ○立体図形の表面積や体積の求め方を考察し、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空間図形の性質や関係を捉えることよの必要性や意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○空間図形の性質や関係をを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
7章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用]	10	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のデータの整理や分析の方法を、問題解決に生かそうとしている。 ・データを度数分布表やヒストグラム、相対度数の折れ線グラフに表し、分布の特徴を読み取り、説明することができる。 ・相対度数の必要性と意味を理解する。 ・代表値や範囲を用いてデータの分布の傾向を読み取り、説明することができる。 ・不確定な事象の起こりやすさ、その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒストグラムや度数折れ線の必要性と意味を理解し、それらを用いてデータを整理することができる。 ○コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ○多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習のデータの整理や分析の方法および、多数回の試行によって得られる確率についてよきに気付けて、粘り強く考えようとしている。 ○既習のデータの整理や分析の方法および、多数回の試行によって得られる確率について学んだことを問題解決に生かそうとしている。 ○ヒストグラムや相対度数、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

教科	数学	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
1章 文字式を使って説明しよう [式の計算]	15	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの問題を、具体的な数の計算をもとに考え、文字を用いて一般的に表す必要性を理解する。 単項式と多項式、次数の意味を理解する。また、四則計算もできるようにする。 具体的な数の性質をもとに数の性質を見だし、その性質が成り立つことを、文字を使って一般的に説明できることを理解する。 目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し、等式を変形して、ある文字について解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を使うと、数量を一般的に表すことができることを理解している。 ○簡単な整式の四則計算をすることができる。 ○文字を使って数量を表したり、説明することがならに合わせて文字式を変形したりすることができる。 ○目的に応じて等式を変形することの必要性を理解している。
2章 方程式を利用して問題を解決しよう[連立方程式]	12	<ul style="list-style-type: none"> 求めたい数量が2つある問題を、既習の1元1次方程式などを活用して解決することができる。 2元1次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解し、様々な方法で解けるようにする。 具体的な問題を、連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ○連立方程式とその解の意味を理解している。 ○簡単な2元1次方程式を解くことができる。
3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数]	19	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を調べ、一定の割合で変化していることを見いだす。 1次関数の意味を理解し、$y=ax+b$の式に表すことができる。 連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかくて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1次関数の意味を理解し、$y=ax+b$の式に表すことができる。 ○事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ○2元1次方程式を関数を表す式とみるることができる。
4章 図形の性質の調べ方を考えよう[平行と合同]	15	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角の和の求め方を説明することができる。 角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。 平面図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。 根拠となることがならを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平行線や角の性質を理解している。 ○多角形の角についての見いだせることを知っている。 ○多角形の外角の和の性質は、多角形の内角の和をもとにして見いだせることを理解している。 ○平面図形の合同の意味と表し方を理解している。 ○証明の必要性と意味を理解している。
5章 図形の性質を見つけよう [三角形と四角形]	21	<ul style="list-style-type: none"> 演繹的な推論の意味や方法を理解し、三角形や四角形の性質を調べる。 定義や定理、および定理の逆の意味や、仮定、結論を明らかにして証明することの意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二等辺三角形や直角三角形、平行四辺形の定義や性質を理解している。 ○三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。
6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]	9	<ul style="list-style-type: none"> 多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすきの傾向を読み取り、説明することができる。 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味及び確率の求め方を理解する。 身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味及び確率の求め方を理解している。 ○簡単な場合について確率を求めることができる。

<p>7章 データを比較しよう [データの比較]</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。 ・箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。 ・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 ○パソコンなどの手段を用いて、データを整理し、箱ひげ図に表すことができる。
----------------------------------	----------	--	--

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○既習の計算方法と関連付けて、2つの文字をふくむ多項式と数の乗法や除法の計算を考え、説明することができる。</p> <p>○文字を使った説明を読んで新たな性質を見いだしたり、問題の条件を変えて統一的・発展的に考え説明したりすることができる。</p>	<p>○文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○文字式にいて学んだことを、生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○文字式を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○1元1次方程式などを活用して、2元1次方程式を解く方法を考察し表現できる。</p> <p>○連立2元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○連立2元1次方程式のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○1次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</p> <p>○1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</p>	<p>○1次関数のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○1次関数で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明することができる。</p>	<p>○平面図形や証明のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○平面図形や証明で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○平面図形や証明を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○三角形の合同条件や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。</p>	<p>○三角形や四角形のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○三角形や四角形で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○三角形や四角形を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考え、説明することができる。</p> <p>○確率を用いて不確実な事象を捉え考察し表現することができる。</p>	<p>○確率のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○確率で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○確率を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>

<p>○四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り, 批判的に考察し判断することができる。</p>	<p>○既習のデータの整理や分析の方法を, 問題解決に生かそうとしている。 ○四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ○データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
--	--

教科	数学	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能
1章 文字式を使って説明しよう	19	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な問題を、文字式とその計算を利用して解決することを通して、文字のよさを理解する。 ・数の性質や図形が成り立つことを、文字を使って証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ○簡単な1次式の乗法の計算及び公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。
2章 数の世界をさらに広げよう [平方根]	16	<ul style="list-style-type: none"> ・数の平方根の必要性和意味を理解し、計算できるようにする。 ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 ・計算方法を、既習内容を用いて考察できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数の平方根の必要性和意味を理解している。 ○数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。 ○具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。
3章 方程式を利用して問題を解 決しよう [2次方程式]	15	<ul style="list-style-type: none"> ・二次方程式の必要性和意味を理解する。 ・因数分解や解の公式を利用して、二次方程式を解けるようにする。 ・既習内容を基に二次方程式の解き方を考察し表現する。 ・二次方程式を具体的な場面で活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次方程式の必要性和意味を理解する。 ○因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くことができる。 ○解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。
4章 関数の世界をひろげよう [関数 $y=ax^2$]	17	<ul style="list-style-type: none"> ・関数$y=ax^2$について理解する。 ・事象の中には関数$y=ax^2$として捉えられるものがあることを知ること。 ・いろいろな事象の中に関数関係があることを理解すること。 ・数$y=ax^2$として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・関数$y=ax^2$を用いて具体的な事象を捉え考察し、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関数$y=ax^2$について理解している。 ○事象の中には関数$y=ax^2$として捉えられるものがあることを知っている。 ○いろいろな事象の中に関数関係があることを理解している。
5章 形に着目して図形の性質を 調べよう [相似な図形]	23	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解する。 ・基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係を理解する。 ・三角形の相似条件を基に、図形の基本的な性質を論理的に確かめること。 ・相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平面図形の相似の意味と表し方を理解している。 ○基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係を理解している。
6章 円の性質を見つけて証明しよう [円]	10	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角と中心角の関係を見だし、意味を理解し、それが証明できることを知る。 ・円周角と中心角の関係を見だす。 ・円周角と中心角関係を具体的な場面で活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○円周角と中心角の関係を見だし、意味を理解し、それが証明できることを知っている。

<p>7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]</p>	<p>13</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理の意味を理科し、それが証明できることを知ること。 ・三平方の定理を見いだすこと。 ・三平方の定理を具体的な場面で活用すること。 	<p>○三平方の定理の意味を理科し、それが証明できることを知っていること。</p>
<p>8章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査]</p>	<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の意味と必要性を理解すること。 ・パソコンなどの情報手段を用いて、無作為に標本を取り出し、整理すること。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現すること。 ・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。 	<p>○標本調査の意味と必要性を理解している。 ○パソコンなどの情報手段を用いて、無作為に標本を取り出し、整理することができる。</p>

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○すでに学習した計算方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現できる。</p> <p>○文字を用いた式で数量及び数量の関係をつまえ説明することができる。</p>	<p>○式の展開や因数分解のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○式の展開や因数分解で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○すでに学習した計算方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算方法を考察し表現できる。</p> <p>○数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○既習の計算法則などを、根号をふくむ式の計算に生かそうとしている。</p> <p>○数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
<p>○因数分解や平方根の考え方を基にして、二次方程式を解く方法を考察し、表現することができる。</p> <p>○二次方程式を具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○二次方程式のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○二次方程式で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○関数$y=ax^2$として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</p> <p>○関数$y=ax^2$を用いて具体的な事象をつまえ考察し、表現することができる。</p>	<p>○関数 $y=ax^2$のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○関数 $y=ax^2$で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○関数 $y=ax^2$を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○三角形の相似条件を基に、図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</p> <p>○平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。</p> <p>○相似な図形の具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○相似な図形のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○相似な図形で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○相似な図形を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○円周角と中心角の関係を見だし、証明について、構想を立てることができる。</p> <p>○直径と円周角の定理を具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○円周角と中心角のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。</p> <p>○円周角と中心角で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>

<p>○三平方の定理を見いだすことができる。○三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○三平方の定理のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。 ○三平方の定理で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>
<p>○標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ○簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断ができる。</p>	<p>○標本調査のよさを実感し。粘り強く考えようとしている。 ○標本調査で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。</p>

教科	理科	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【単元1】第1章 生物の観察と分類のしかた	6	<p>いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>生物の観察と分類のしかたについての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点を基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
【単元1】第2章 植物の分類	9	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・身近な植物についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点を基準を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>植物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点を基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
【単元1】第3章 動物の分類	9	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物のからだの共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・身近な動物についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点を基準を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>動物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点を基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元2】第1章 身のまわりの物質とその性質</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの物質をさまざまな方法で調べる実験を通して、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。(知識・技能) 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) 物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元2】第2章 気体の性質</p>	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体を発生させてその性質を調べる実験を通して、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。(知識・技能) 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) 物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、気体の発生とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元2】第3章 水溶液の性質</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水溶液から溶質をとり出す実験を通して、その結果を溶解度と関連づけて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) 水溶液に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>水溶液について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>水溶液に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元2】第4章 物質の姿と状態変化</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物質の状態変化についての観察、実験を通して、状態変化によって物質の体積は変化することが質量は変化しないことを見いだして理解する。また、物質は融点や沸点をさかいに状態が変化することを知らるとともに、混合物を加熱する実験を通して、沸点のちがいによって物質の分離ができることを見いだして理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>状態変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元3】第1章 光の世界</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光についての観察、実験を通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性や、凸レンズのはたらきについての実験から、物質の位置と像の位置および像の大きさの関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・光について問題点を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・光に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>光に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>光について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきから規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>光に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元3】第2章 音の世界</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音についての観察、実験を通して、音は物体が振動することによって生じ空気中などを伝わることや、音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・音について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・音に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>音に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>音について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>音に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元3】第3章 力の世界</p>	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体に力をはたらかせる観察、実験を行い、物体に力がかかるとその物体が変形したり動き始めたり、運動のようすが変わったりすることや、力は大きさや向きによって表されることが、物体にはたらく2力のつり合う条件を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・力について問題を見だし、見直しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>力のはたらきについて、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元4】導入観察 身近な地形や地層、岩石の観察</p>	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(知識・技能) ・身近な地形や地層、岩石の観察について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>身近な地形や地層、岩石の観察について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元4】第1章 火をふく大地</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(知識・技能) ・火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・火山、自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>火山、自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元4】第2章 動き続ける大地</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(知識・技能) ・地震、地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性、地震災害と地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・地震、地震災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>地震、地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性、地震災害と地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>地震、地震災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元4】第3章 地層から読みとる大地の変化</p>	<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(知識・技能) ・地層の重なりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	<p>大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>地層の重なりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

教科	理科	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章生物と細胞	7	○生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。	○生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	○生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
第2章植物のからだとつくりと働き	10	○植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。	○植物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	○植物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	○植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

<p>第3章動物のからだのつくりと働き</p>	<p>10</p>	<p>○動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p>	<p>○動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>○動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>○動物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>第4章刺激と反応</p>	<p>10</p>	<p>○動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p>	<p>○動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>○刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>○刺激と反応に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章物質の成り立ち	8	○物質を分解する実験を通して、分解して生成した物質はもとの物質とは異なることを見いだして理解する。また、物質は原子や分子からできていることを理解するとともに、物質を構成する原子の種類は記号で表されることを知る。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。	○化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化、化学変化における酸化と還元、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的技能を身に付けている。	○化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における、物質の変化を見出して表現しているなど、科学的に探究している。	○物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
第2章物質どうしの化学変化	10	○2種類の物質を反応させる実験を通して、反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること、化学変化は化学反応式で表されることを理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。	○化学変化と原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。	○化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を提案して、観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見出して表現しているなど、科学的に探究している。	○化学変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返るなど、科学的に探究しようとしている。

<p>第3章酸素が関わる酸化</p>	<p>10</p>	<p>○酸化や還元の実験を通して、酸化や還元は酸素が関係する反応であることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p>	<p>○化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>○化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>○化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>第4章化学変化と物質の質量</p>	<p>10</p>	<p>○化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を通して、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解する。また、化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を通して、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだして理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p>	<p>○化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>○化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>○化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>第5章化学変化とその利用</p>	<p>5</p>	<p>○化学変化によって熱をとり出す実験を通して、化学変化には熱の出入りがともなうことを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p>	<p>○化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>○化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>○化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章気象の観測	10	○気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。	○気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	○気象観測について見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見出して表現しているなど、科学的に探究している。	○気象観測に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
第2章雲のでき方と前線	10	○気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。	○気象要素と天気の変化と関係性に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などに関する基本的な技能を身に付けている。	○天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見出して表現しているなど、科学的に探究している。	○天気の変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

<p>第3章大気の動きと日本の天気</p>	<p>10</p>	<p>○気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。</p>	<p>○気象要素と天気の変化との関係性に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の動きと海洋の影響についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>○日本の気象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、日本の気象についての規則性や関係性を見出して表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>○日本の気象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
-----------------------	-----------	---	--	--	--

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章静電気と放電	10	○静電気の性質および静電気と電流には関係があること, それらの観察, 実験などに関する技能を身につける。また, 静電気と放電を関連させ, 放射線の性質と利用について理解する。	○電流に関する事物現象を日常生活や社会と関連付けながら, 回路と電流・電圧, 電流・電圧と抵抗, 電気とそのエネルギー, 静電気と電流についての基本的な概念や, 原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的操作や記録などの基本的技能を身につける。	○電流に関する現象について, 見通しをもって解決する方法立案して観察, 実験などをおこない, その結果を分析して解釈し, 電流と電圧, 電流のはたらき, 静電気の規則性や関係性を見出して表現しているなど, 科学的に探究している。	○電流に関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
第2章電流の性質	10	○電気に関する観察, 実験を通じて, 回路の各点に流れる電流や, 各部分の電圧について調べる技能を身につけるとともに, 電流, 電圧のはたらきを理解する。	○電流と磁界に関する事物・現象日常生活や社会と関連付けながら, 電流が作る磁界, 磁界中の電流が受ける力, 電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	○電流と磁界に関する現象について, 見通しをもって解決する方法を立案して観察, 実験などをおこない, その結果を分析して解釈し, 電流と磁界の規則性や関係性を見出して表現するなど, 科学的に探究している。	○電流と磁界に関する事物・現象日常生活や社会と関連付けながら, 電流が作る磁界, 磁界中の電流が受ける力, 電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。

<p>第3章電流と磁界</p>	<p>10</p>	<p>○磁界と磁力線との関係, 電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察, 実験を通して理解するとともに, それらの観察, 実験の技能を身につける。</p>	<p>○電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら, 磁界と磁力線との関係, 電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察, 実験を通して理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な基礎操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>○電流と磁力線との関係, 電流の磁気作用について見通しをもって観察, 実験などを行い, 実験結果を分析して解釈し, 電流と磁界の関係性を見いだして表現するなど, 科学的に探究している。</p>	<p>○電流と磁界に関する事物・現象に進んでかかわり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>
-----------------	-----------	--	---	---	---

教科	理科	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【単元1】化学変化とイオン 第1章 水溶液とイオン	8	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解する。また、電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、電極に物質が生成することからイオンの存在を知るとともに、イオンの生成が原子のなり立ちに関係することを知る。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うと 	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子のなり立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
【単元1】化学変化とイオン 第2章 酸、アルカリとイオン	10	<ul style="list-style-type: none"> ・酸とアルカリの性質を調べる実験を通して、酸とアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知る。また、中和反応の実験を通して、酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度) 	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

<p>【単元1】化学変化とイオン 第3章 化学変化と電池</p>	<p>10</p>	<p>・金属を電解質水溶液に入れる実験を通して、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解する。また、電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を通して、電池の基本的なしくみを理解するとともに、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知る。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・化学変化と電池に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>化学変化と電池について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>化学変化と電池に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元2】生命の連続性 第1章 生物の成長と生殖</p>	<p>10</p>	<p>・生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・生物の成長とふえ方について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元2】生命の連続性 第2章 遺伝の規則性と遺伝子</p>	<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・遺伝の規則性と遺伝子について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、遺伝の規則性と遺伝子についての特徴や規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることが 	<p>遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元2】生命の連続性 第3章 生物の多様性と進化</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・生物の種類の多様性と進化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ること 	<p>生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元3】運動とエネルギー 第1章 物体の運動</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体に力がはたらく運動および力がはたらかない運動についての観察、実験を行い、物体の運動には速さと向きがあること、力がはたらく運動では運動の向きや時間の経過にともなって物体の速さが変わること、および、力がはたらかない運動では物体は等速直線運動することを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。(知識・技能) ・物体の運動について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・物体の運動に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究する態度を養うとともに、自 	<p>運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元3】運動とエネルギー 第2章 力のはたらき方</p>	<p>8</p>	<p>・2つ以上の力がはたらく状況の観察, 実験を通して, 合力や分力の規則性や, 物体にはたらく力と物体の運動の関係を理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・力のはたらきと物体の運動の関係性について問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 力のはたらきと物体の運動の規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・力のはたらきと物体の運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり, 科学的に探究しようとする態度を養うとともに, 自然を総合的に見ることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>力のつり合いと合成・分解, 運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら, 水中の物体にはたらく力, 力の合成・分解, 力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>力のつり合いと合成・分解, 運動の規則性について, 見通しをもって観察, 実験などを行い, その結果を分析して解釈し, 力のつり合いと合成・分解, 運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに, 探究の過程をふり返るなど, 科学的に探究している。</p>	<p>力のつり合いと合成・分解, 運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元3】運動とエネルギー 第3章 エネルギーと仕事</p>	<p>13</p>	<p>・仕事に関する観察, 実験を行い, 仕事と仕事率について理解する。また, 力学的エネルギーに関する観察, 実験を行い, 物体のもつ力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事で測れること, 運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることを, 力学的エネルギーの総量は保存されることなどを見いだして理解するとともに, それらの観察, 実験の技能を身につける。(知識・技能) ・運動とエネルギーについて, 見通しをもって観察, 実験などを行い, その結果を分析して解釈し, 力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現する。また, 探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり, 科学的に探究する態度を養うとともに, 自然</p>	<p>力学的エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら, 仕事とエネルギー, 力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>力学的エネルギーについて, 見通しをもって観察, 実験などを行い, その結果を分析して解釈し, 力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに, 探究の過程をふり返るなど, 科学的に探究している。</p>	<p>力学的エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元4】地球と宇宙 プロローグ 星空をながめよう</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(知識・技能) ・月や太陽、恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う 	<p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>月や太陽、恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元4】地球と宇宙 第1章 地球の運動と天体の動き</p>	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(知識・技能) ・天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかかわり科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与 	<p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元4】地球と宇宙 第2章 月と金星の見え方</p>	<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(知識・技能) ・月や金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ること 	<p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>月や金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元4】地球と宇宙 第3章 宇宙の広がり</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(知識・技能) 太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) 太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 	<p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元5】地球と私たちの未来のために 第1章 自然のなかの生物</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) 身近な自然環境を調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断する。(思考・判断・表現) 生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 	<p>日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元5】地球と私たちの未来のために 第2章 自然環境の調査と保全</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) 身近な自然環境を調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断する。(思考・判断・表現) 生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 	<p>日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元5】地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間</p>	<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間は水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知るとともに、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識する。また、物質に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会では、さまざまな物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、物質の有効な利用が大切であることを認識する。さらに、科学技術の発展の過程を知るとともに、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能) ・日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術のあり方について、科学的に考察して判断する。(思考・判断・表現) ・エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることがで 	<p>日常生活や社会と関連づけながら、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。</p>	<p>エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
<p>【単元5】地球と私たちの未来のために 地域とつながる 自然災害と地域のかかわりを学ぶ</p>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会と関連づけながら、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(知識・技能) ・地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断する。(思考・判断・表現) ・環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができようとする。(態度) 	<p>日常生活や社会と関連づけながら、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>地域の自然災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり、ふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

<p>【単元5】地球と私たちの未来のために 終章 持続可能な社会をつくるために</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と社会とを関連づけながら、科学技術が人々の生活を豊かにし、人間の経済活動が環境に変化をあたえていることを理解するとともに、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識し、そのための科学的調査の技能を身につける。(知識・技能) ・多様な情報からエネルギーや資源、自然環境についての問題を見だし、調査や文献などの科学的知見を分析し、経済活動と環境保全のあり方について、科学的に考察して判断する。(思考・判断・表現) ・義務教育段階の理科をふり返り、科学の有効性を判断し、環境に関する科学的調査を計画し、 	<p>経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的とり組みから、持続可能な社会に向けた行動判断のもとになる科学的調査(文献調査もふくむ)の技能を身につけている。</p>	<p>資源・環境の持続性について問題を見だし、身のまわりの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して、持続可能な社会に向けての行動を判断している。</p>	<p>これまでの理科学習について進んでふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、科学的に探究しようとしている。</p>
---	---	--	--	---

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

内容のまとめ	時数	内容のまとめの到達目標	知識・技能
「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕	17	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。
「A表現」(2)器楽及び〔共通事項〕	5	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造の関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。
「A表現」(2)創作及び〔共通事項〕	5	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・音のつながり方の特徴について理解している。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。

<p>「B鑑賞」(1)鑑賞 及び〔共通事項〕</p>	<p>8</p>	<p>曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造の関わりについて理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。
--------------------------------	----------	---	--

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>

<ul style="list-style-type: none">・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている・。曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。・生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。・音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	<ul style="list-style-type: none">・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
--	---

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

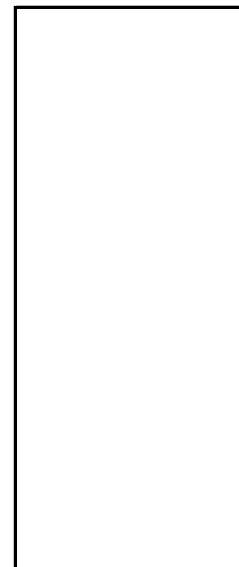
内容のまとめり	時数	内容のまとめりの到達目標	知識・技能
「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕	17	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。
「A表現」(2)器楽及び〔共通事項〕	5	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造の関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。
「A表現」(2)創作及び〔共通事項〕	5	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。

<p>「B鑑賞」(1)鑑賞 及び〔共通事項〕</p>	<p>8</p>	<p>曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造の関わりについて理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国族の音楽の様々な特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。
--------------------------------	----------	---	--

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>

<ul style="list-style-type: none">・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている・曲や演奏に対する評価とその根拠について、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。・生活や社会における音楽の意味や役割について、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。・音楽表現の共通性や固有性について、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	<ul style="list-style-type: none">・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
--	---





教科	音楽	学年	第3学年
----	----	----	------

内容のまとめ	時数	内容のまとめの到達目標	知識・技能
「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕	17	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。
「A表現」(2)器楽及び〔共通事項〕	5	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造の関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。
「A表現」(2)創作及び〔共通事項〕	5	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。

<p>「B鑑賞」(1)鑑賞 及び〔共通事項〕</p>	<p>8</p>	<p>曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な鑑賞の技能を身に付けるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造の関わりについて理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国族の音楽の様々な特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。
--------------------------------	----------	---	--

単元のまとまりの評価規準

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>

<ul style="list-style-type: none">・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている・曲や演奏に対する評価とその根拠について、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。・生活や社会における音楽の意味や役割について、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。・音楽表現の共通性や固有性について、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	<ul style="list-style-type: none">・音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
--	---

教科	美術	学年	1学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
			知識技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A表現 B鑑賞 〔共通事項〕 「絵画基礎」 ・絵画の基礎 ・クロッキー ・デッサン	25	身近にあるものを見つめ、形や色彩、質感などの特徴を捉えたりして主題を生み出し、構成や材料、用具を工夫して立体で表現する。	【知識】 形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技能】 線の強弱などの鉛筆や生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	【発想】 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	【表現】 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
A表現 B鑑賞 〔共通事項〕 「色」 ・色の基礎 ・色の応用	11	感情やイメージなどを形や色彩などで表すことに関心を持ち、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え材料の特性を生かして創造的に絵や立体で表す。	【知識】 ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解することができる。 【技能】 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すことができる。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すことができる。	【発想】 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。 【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。	【表現】 楽しく美術の活動に取り組む創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、表現及び鑑賞の活動を通して心かな生活を創造していく態度を養おうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
A表現 B鑑賞 〔共通事項〕 「デザイン」 ・デザインについて ・ロゴマーク	9	イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、機能などを工夫して文字をデザインする。	【知識】 文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 【技能】 機能の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	【発想】 文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 【鑑賞】 文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	【表現】 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく意味や美しさなどを生かして文字をデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

教科	美術	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
A表現 B鑑賞 〔共通事項〕 「絵画応用」 ・モダンテクニック ・絵画の表現	11	感情やイメージなどを形や色彩などで表すことに関心を持ち、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え材料の特性を生かして創造的に絵や立体で表す。	【知識】 形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、形や色彩の組み合わせを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技能】 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	【発想】 感情やイメージなどの心の世界を基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	【表現】 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、表現及び鑑賞の活動を通して心豊かな生活を創造していく態度を養おうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
A表現 B鑑賞 〔共通事項〕 「絵画」 ・水墨画の練習 ・干支の水墨画	12	墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考え表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。	【知識】 墨の濃淡や筆の線の勢いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、墨による表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技能】 墨や筆の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	【発想】 感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、墨による表現の効果を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と筆使いや水加減の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	【表現】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題などを基に構想を練ったり、意図に応じて筆使いや水加減を工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的による表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
A表現 B鑑賞 〔共通事項〕 「メディア」 ・写真について ・撮影、加工	3	写真表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、被写体の印象の魅力から主題を生み出し、構図の効果を考え構想を練ったりカメラの特性を生かしたりして創造的に表す。	【知識】 写す角度や配置、拡大や縮小、光や陰影、時間の静止などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技能】 カメラや編集機能の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	【発想】 被写体の印象などを基に主題を生み出し、構図や効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【鑑賞】 造形的なよさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている	【表現】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題などを基に構想を練ったり、意図に応じて筆使いや水加減を工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的による表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
A表現 B鑑賞 〔共通事項〕 「版画」 ・版画について ・自画像の版画	9	表したい主題に合うように版の特性を生かした表現効果を考え、材料や用具を工夫して版で表す。	【知識】 形や色彩、線や面、影の表し方などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、版による表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技能】 彫りや刷りの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	【発想】 感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、版による表現の効果を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と彫りや刷りの工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	【表現】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表したい主題などを基に構想を練ったり、意図に応じて彫りや刷りを工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に版による表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

教科	美術	学年	3学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
			知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
A表現 B鑑賞 【共通事項】 「工芸」 ・伝統工芸について ・奇木細工	13	・工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、形や色彩、材料、技法、作風や印象などを捉え、人の手による技の素晴らしさや作品の美しさ、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める。 ・材料の特性や機能性を生かしてつくることに関心を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持ってデザインし表す。	【知識】 材料の特性や質感、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や加工方法を基に、材料の持ち味を全体のイメージで捉えることを理解している。 【技能】 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。	【発想】 材料のよさや美しさを基に、使う場面や機能などから主題を生み出し、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。 【鑑賞】 使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	【表現】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性を生かしてつくることを考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
A表現 B鑑賞 【共通事項】 「彫刻」 ・彫塑について ・手の彫塑	12	自身の手を見つめ、形や質感などの特徴を捉えたり、自身らしさを考えてして主題を生み出し、構成や材料、用具を工夫して立体で表現する。	【知識】 自身の手の特徴的な特徴などを基に、よさや印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技能】 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	【発想】 自身の手を見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている 【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	【表現】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自身の手の特徴などを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
A表現 B鑑賞 【共通事項】 「卒業制作」 ・制作 ・発表、鑑賞	10	自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、絵の具や用具などの特性を生かし意図に応じて創意工夫して絵や立体で表現する。	【知識】 形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、形や色彩の組み合わせを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技能】 材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。	【発想】 自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	【表現】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自分の姿から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

教科	保健体育	学年	第1・2・3学年
----	------	----	----------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健分野 【健康な生活と疾病の予防】	20	健康の成り立ちと疾病の発生要因および生活習慣と健康について、課題を発見し、その解決を目指した学習に自主的に取り組み、理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。 ・また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。 ・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解している。 ・生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養、及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることを理解している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解している。 ・感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。 ・健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用することを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。

教科 保健体育		学年 第1・2学年	
單元名	特徴	単元のねらい(小単元のねらい)	第五のまじりの詳細規程
体育分野 A 体づくり運動	7	○知識 「自分の課題を教員、合理的な方法で行って運動の楽しみや工夫を工夫する」とともに、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。 ○技能 「自分の課題を教員、合理的な方法で行って運動の楽しみや工夫を工夫する」とともに、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。	「体づくりに積極的に取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。 「健康・安全に気を配りながら取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。
B 器械運動	10	(1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びや他者の理解を深めること、運動の楽しさや喜びや他者の理解を深めること、運動の楽しさや喜びや他者の理解を深めること、運動の楽しさや喜びや他者の理解を深めること。 ○知識 「運動の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」 ○技能 「運動の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」	「様々な自分の課題を教員、合理的な方法で行って運動の楽しみや工夫を工夫する」とともに、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。 「健康・安全に気を配りながら取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。
C 陸上競技	10	物事にも力を使う。 ○知識 「陸上競技の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」 ○技能 「陸上競技の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」	「陸上競技に積極的に取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。 「健康・安全に気を配りながら取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。
D 水泳	12	○知識 「水泳の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」 ○技能 「水泳の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」	「陸上競技に積極的に取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。 「健康・安全に気を配りながら取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。
E 球技	10	○知識 「球技の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」 ○技能 「球技の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」	「球技に積極的に取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。 「健康・安全に気を配りながら取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。
F 武道	12	○知識 「武道の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」 ○技能 「武道の特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」	「武道に積極的に取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。 「健康・安全に気を配りながら取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。
G ダンス	10	○知識 「ダンスの特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」 ○技能 「ダンスの特性や成り立ち、技術的な特徴や正しい姿勢、その運動に必要となる身体能力などについて理解している。」	「ダンスに積極的に取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。 「健康・安全に気を配りながら取り組む」とともに、仲間や教員から指導を受けながら、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。
H 体育補助 ① 運動やスポーツの多様性		○知識 「運動やスポーツが多様であることについて理解している。」	「運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を教員、合理的な方法で行って運動の楽しみや工夫を工夫する」とともに、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。
② 運動やスポーツの意義や楽しみや学びや仲間や他者への関わり	3	○知識 「運動やスポーツの意義や楽しみや学びや仲間や他者への関わりについて理解している。」	「運動やスポーツの意義や楽しみや学びや仲間や他者への関わりについて、自己の課題を教員、合理的な方法で行って運動の楽しみや工夫を工夫する」とともに、自己や仲間の手えたことと他者に伝える。

教科	保健体育	学年	第1学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健分野 【心身の機能の発達と心の健康】	12	心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した学習に自主的に取り組み、理解できるようにするとともに、ストレスへの対処の仕方を身につけることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時節やその程度には、個人差があることを理解している。 ・思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを理解している。 ・知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされることを理解している。 ・精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解しているとともに、それらに対処する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。

教科	保健体育	学年	第2学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健分野 【傷害の防止】	8	傷害の発生要因およびその防止について、課題を発見し、その解決を目指した学習に自主的に取り組み、理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。 ・交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解している。 ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解している。 ・応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。

教科 保健体育 学年 第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育分科 A 体づくり運動	7	(1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を愛する実践することができるようにする。 (2)運動についての自己や仲間の問題を発生し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える方を養う。 (3)運動における競争や協働の経験をを通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、争奪する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意図を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。	○知識 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。	・自己や仲間の課題を発生し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくりに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
B 器械運動	9	1)実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)運動についての自己や仲間の問題を発生し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える方を養う。 (3)運動における競争や協働の経験をを通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、争奪する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意図を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。	○知識 ・技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 ○技能 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。 ・飛び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。	・技などの自己や仲間の課題を発生し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を提案しようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
C 陸上競技	9	○知識 ・技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを高く越すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに合わせた踏み込みから大きく踏み切ることができ、踏み込みが適切で跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、リスカルな踏み込みから大きく踏み切ることができ、踏み込みが適切で跳ぶことができる。	・動きなどの自己や仲間の課題を発生し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	
D 水泳	9	○知識 ・技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは、手足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・蝶泳の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。	・泳法などの自己や仲間の課題を発生し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に自主的に取り組むとともに、フライングを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	
E 球技	12	○知識 ・技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって安定した場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と意図的な攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。	・攻守などの自己やチームの課題を発生し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、相手やフェアプレーを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	
F 武道	12	○知識 ・伝統的な考え方、技の名称や取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を倒して投げたり、抑えたりなどの攻防をすることができる。	・攻守などの自己や仲間の課題を発生し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	
G ダンス	10	○知識 ・ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 ○技能 ・創作ダンスでは、表したいテーマに基づき、表現のイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて印象的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、日本の民族や外国の踊りから、その踊りの特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きを組み立てることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とリズムを付けて、リズムに	・表現などの自己や仲間の課題を発生し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	
H 体育理論 (1)文化としてのスポーツの意義	3	○知識 ・文化としてのスポーツの意義について理解している。	・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発生し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むとされている。	

教科	保健体育	学年	第3学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健分野 【健康と環境】	8	健康と環境について、課題を発見し、その解決を目指した学習に自主的に取り組み、理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解している。 ・飲料水や空気は、健康と密接な関わりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があることを理解している。 ・人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとしている。

教科	技術・家庭（技術分野）	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4編 情報の技術 1章 情報の技術の原理と仕組み ①情報の技術 ②情報のデジタル化 ③情報通信ネットワークの仕組み ④情報モラル ⑤情報セキュリティ技術 ⑥情報の技術の工夫	15	○情報の技術の見方・考え方を働かせ持続可能な社会の構築を目指したコンピュータ作品を開発する実践的・体験的な活動を通して生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	○情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解をしている。 ○情報通信ネットワークの構成と情報を利用するための基本的な仕組みを理解し安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。	○情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ○問題を見いだして課題を設定し使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化するとともに制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	○主体的に情報の技術について考え理解をしようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりしようとしている。

教科	技術・家庭（技術分野）	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 編 材料と加工の技術 1 章 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み ①材料と加工の技術 ②材料の特性 ③加工方法 ④丈夫な製品 ⑤技術の工夫 2 章 材料と加工の技術による問題解決 ①問題発見、課題設定 ②製作品の構想、設計製図 ③製作計画 ④作業手順 ⑤問題解決 3 章 社会の発展と材料と加工の技術 ①材料と加工の技術 ②材料と加工の技術のまとめ	20	○材料と加工の技術の見方・考え方を働かせ、より安全な生活を生活を目指した木工作品を開発する実践的・体験的な活動を通して生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、材料と加工の技術と安全な生活の社会との関わりについて理解を深めるとともに生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして課題を設定する力、安全な生活や社会の実現に向けて適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫して創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	○材料や加工の特性等の原理・法則と材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解をしている。 ○製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。 ○生活や社会、環境との関わりを踏まえて材料と加工の技術の概念を理解している。	○材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ○問題を見いだして課題を設定し材料の選択や成形の方法等構想して設計を具体化するとともに製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 ○材料と加工の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	○主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。

教科	技術・家庭（技術分野）	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2編 生物育成の技術 1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み ①生物育成の技術 ②生物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術 ⑥生物育成の技術の工夫 2章 生物育成の技術による問題解決 ①問題を発見し課題設定 ②生物の育成計画 ③成長段階に合わせて適切に育成する ④問題解決 3章 社会の発展と生物育成の技術 ①生物育成の技術の最適化 ②生物育成の技術のまとめ	5	○生物育成の技術の見方・考え方を働かせ地域の自然環境へ配慮して野菜を栽培する実践的・体験的な活動を通して生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに地域社会の中から生物育成の技術と環境に関わる問題を見いだして課題を設定する力、よりよい地域社会の構築に向けて適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	○育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 ○安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。 ○生活や社会、環境との関わりを踏まえて生物育成の技術の概念を理解している。	○生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ○問題を見いだして課題を設定し育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 ○生物育成の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	○主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善しようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。

教科	技術・家庭（技術分野）	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3編 エネルギー変換の技術 1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ①エネルギー変換の技術 ②発電の仕組みと特徴 ③電気を供給する仕組み ④電気回路 ⑤電気機器の安全 2章 エネルギー変換の技術による問題解決 ①問題を発見し課題設定 ②電気回路を設計・製作	20	○エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせ日常生活に役立つ製品を開発する実践的・体験的な活動を通して生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けエネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに生活や社会の中からエネルギー変換の技術と安心・安全に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、安全な社会の構築に向けて適切かつ誠実にエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	○電気、運動、熱の特性等の原理・法則とエネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。 ○安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。 ○生活や社会、環境との関わりを踏まえてエネルギー変換の技術の概念を理解している。	○エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ○問題を見いだして課題を設定し電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 ○エネルギー変換の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	○主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりしようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けてエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。

教科	技術・家庭（技術分野）	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4編 情報の技術 2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ①双方向性のあるコンテンツ ②問題発見、課題設定 ③コンテンツの構成 ④コンテンツのプログラム製作 ⑤問題解決	10	○情報の技術の見方・考え方を働かせ持続可能な社会の構築を目指したコンピュータ作品を開発する実践的・体験的な活動を通して生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	○情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解をしている。 ○情報通信ネットワークの構成と情報を利用するための基本的な仕組みを理解し安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。	○情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ○問題を見いだして課題を設定し使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化するとともに制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	○主体的に情報の技術について考え理解をしようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりしようとしている。

教科	技術・家庭（技術分野）	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3編 エネルギー変換の技術 1章 エネルギー変換の技術の原理・法則の仕組み ⑥運動エネルギーへの変換と利用 ⑦回転運動を伝える仕組み ⑧機械が動く仕組み ⑨機械の保守点検 ⑩エネルギー変換の技術の工夫 2章 エネルギー変換の技術による問題解決 ③機構モデル設計・製作 ④問題解決 3章 社会の発展とエネルギー変換の技術 ①エネルギー変換の技術の最適化 ②エネルギー変換の技術のまとめ	20	○エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせ災害時に役立つ製品を開発する実践的・体験的な活動を通して生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けエネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに生活や社会の中からエネルギー変換の技術と安心・安全に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、安全な社会の構築に向けて適切かつ誠実にエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	○電気、運動、熱の特性等の原理・法則とエネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。 ○安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。 ○生活や社会、環境との関わりを踏まえてエネルギー変換の技術の概念を理解している。	○エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ○問題を見いだして課題を設定し電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 ○エネルギー変換の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	○主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりしようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けてエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。

教科	技術・家庭（技術分野）	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4編 情報の技術 3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 ①計測・制御システム ②問題発見、課題設定 ③計測・制御システムを構想する ④計測・制御システムのプログラム制作 ⑤問題解決 4章 社会の発展と情報の技術 ①情報の技術の最適化 ②情報の技術のまとめ	15	○情報の技術の見方・考え方を働かせ持続可能な社会の構築を目指したコンピュータ作品を開発する実践的・体験的な活動を通して生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	○情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解をしている。 ○情報通信ネットワークの構成と情報を利用するための基本的な仕組みを理解し安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。 ○計測・制御システムの仕組みを理解し安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。 ○生活や社会、環境との関わりを踏まえて情報の技術の概念を理解している。	○情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ○問題を見いだして課題を設定し使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想して情報処理の手順を具体化するとともに制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 ○問題を見いだして課題を設定し入力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。 ○情報の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	○主体的に情報の技術について考え理解をしようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりしようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりしようとしている。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて情報の技術を工夫し創造しようとしている。

教科 技術・家庭(家庭分野) 学年 第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 家庭分野のガイダンス	1	○小学校家庭科の学習をふり返るとともに、3学年間の学習内容の見直しをもつ。 ○各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。			
A(1)自分の成長と家族・家庭生活 ①今の自分とこれまで ②わたしの生活と家族・家庭 ③家庭を支える社会 ④中学生にとっての家族	2	○自分の成長と家族や地域の人びとのかかわりと自分自身の理解を深める。 ○家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。 ○自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ○家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ・家族の互いの立場や役割について理解している。	・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。 ・家族とのかかわりについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族とのかかわりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・よりよい家庭生活の実現に向けて、家庭生活について工夫し創造し、実践しようとしている。
A4 家庭生活と地域のかかわり ①家庭生活と地域での活動 ②多様な人びとが暮らす地域 ③地域に暮らす高齢者 ④高齢者とのかかわり	2	○家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 ○地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。 ○地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者などさまざまな高齢者がいることを理解する。 ○地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者とのかかわりを考える。	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 ・高齢者など地域の人びとと協働する必要があることについて理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。	・地域の人びとと関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。 ・高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・地域との関わりについて工夫し創造し、実践しようとしている。
A5 持続可能な家庭生活をめざして	1	○誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして、課題をみつけ、実践的に取り組む。		・社会や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した生活について考え、工夫している。	・持続可能な社会を目指して、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
B 食生活 1 食事の役割と食習慣 ①食事の役割 ②健康によい食習慣	2	○食事の役割について理解し、毎日の食事に興味をもつ。 ○健康に良い食事について学び、規則正しい食事をとることの重要性を理解する。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・健康によい食習慣について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 ・自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい食生活の実現に向けて、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
2 中学生に必要な栄養を満たす食事 ①中学生の発達と必要な栄養 ②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ③栄養バランスを目で見て判断	3	○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 ○中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。 ○1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。	・中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。 ・栄養素の種類と働きがわかり、食品の栄養的特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と分量について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。 ・中学生の1日分の献立について解決策を構想している。	・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
4 日常食の調理 ①調理の計画 ②おいしさと調理 ③ますます好きになる肉料理 ④こんなにおいしい魚料理 ⑤好きになる野菜の料理	8	○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。 ○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・日常の1食分の調理における、調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。また、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
生活の課題と実践	4	○今まで学習してきた中から、課題を設定して、課題解決に向けて計画を立て実践できる。 ○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。		・問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B6 献立づくり 一日分の献立	3	○各食品群の食品を組み合わせて、栄養バランスのとれた1日分の献立を考えることができる。	・1日分の献立を作成する方法について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B 衣生活 1 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化 ④上手な衣服の選択	3	○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○自分らしい着方を工夫することができる。 ○和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 ○自分の衣服計画が立てられる。 ○既製服を選ぶポイントがわかる。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用について理解している。 ・個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。	・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服の選択について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B3 生活を豊かにするものの製作 布による作品で生活を演出 製作の基礎・基本	6	○布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ○製作の計画を立て、布を用いて生活を豊かにするものをつくる。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

教科 技術・家庭(家庭分野) 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B3 さまざまな食品とその選択 食品が食卓にのぼるまで ①生鮮食品の選択と保存 ②加工食品の選択 ③食品の安全と情報	5	○生鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。 ○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。 ○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。	・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。	・食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。 ・食品の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 ・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B5 地域の食文化	3	○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・調理における調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B7 持続可能な食生活 持続可能な食生活をめざして	2	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。		・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。	・よりよい食生活を目標として、課題の解決について、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
B2 日常着の手入れと保管 ①まかせて衣服の手入れ ②布の繊維に応じた手入れ ③めざそう洗濯名人 ④補修や収納・保管	8	○衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ○取扱表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ○衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 ○衣服が傷んだら、痛みの状況に合わせた方法で衣服のアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	・日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。 ・日常着の手入れについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現しているなどして、課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
生活の課題と実践	2	○今まで学習してきたの中から課題を設定し、課題解決に向けて計画を立て実践できる。 ○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。		・問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B4 持続可能な衣生活 持続可能な衣生活をめざして	1	○資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。		・社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した衣生活について考え、工夫している。	・持続可能な衣生活を目標として、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
A2 幼児の生活と家族 ①幼児のころと今の自分 ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④発達にとってのおとなの役割 ⑤遊びが必要なわけ ⑥遊びを支える環境	10	○自分の成長をふり振り返り、幼児期への関心をもつようにする。 ○幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解する。 ○幼児の言語・認知・情緒・社会性などの発達について理解する。 ○子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について理解する。 ○自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。 ○幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。	・幼児と生活の特徴がわかり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題をし、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
A3 幼児とのかかわり ①ふれ合い体験の前に ②ドキドキワクワクふれ合い体験 ③ふれ合い体験は幼児からの贈り物 ④子どもの成長と地域	4	○幼児とのかかわり体験について自分の課題をもち、ふれ合うときの留意点を理解する。 ○幼児とのかかわり方について身につけた基礎的・基本的な知識を活用し、工夫することができる。 ○幼児とのかかわり方について、感じたことや考えたことを話し合い、幼児への理解を深める。 ○子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で中学生ができることを考える。	・幼児との関わり方について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 ・幼児との関わり方について課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活のために、幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組むようとして、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・幼児との関わり方について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

教科 技術・家庭(家庭分野) 学年 第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A(2) 幼児の生活と家族 3幼児との関わり	1	○幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。	・幼児とのかかわり方について理解している。	・幼児との関わりについて解決策を構想し考察したことを論理的に表現している。	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
C1家庭生活と消費 ①消費生活のしくみ ②家庭生活における収入と支出	2	○物資とサービスの特徴がわかる。 ○消費生活のしくみがわかる ○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。	・物資・サービスについて理解している。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見だして課題を設定している。 ・物資・サービスの購入について問題を見だして課題を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・よりよい生活の実現に向けて、金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
C2購入・支払いと生活情報 ①いろいろな購入方法 ②購入前に知っておくこと ③いろいろな支払い方法 ④情報を活用した上手な購入	3	○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ○売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ○生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選べる。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み・支払い方法の特徴が分かり、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの購入について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現する。	・よりよい生活の実現に向けて、金銭管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
C3消費者被害と消費者の自立 ①なくなる消費者被害 ②消費者をささえるもの ③消費者の権利と責任	3	○消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。 ○消費者を支えるしくみについて理解できる。 ○消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見だして課題を設定し解決策を構想し、考察したことを論理的に表現する。	・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
C4持続可能な社会 ①消費行動が社会に与える影響 ②消費行動が環境に与える影響 ③世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	2	○購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ○環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。 ○持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見だして課題を設定している。・解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B住生活1 住まいのはたらきとこちよさ ①住まいのはたらき ②住まいの空間	2	○住まいの基本的な役割について理解する。 ○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ○住まいの空間の使い方について理解する。 ○さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。	・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。	・住生活について問題を見だして課題を設定している。・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B2安全な住まいで安心な暮らし ①家庭内事故への備え ②災害への備え	3	○家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 ○幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。 ○地域さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。	・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B3持続可能な住生活 持続可能な住生活	1	○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る		・社会や環境に配慮した住生活について問題を見だして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	・持続可能な住生活を目指して、工夫し、創造し、実践しようとしている。 ・社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
3年間を振り返って	0.5	○3年間の学習を振り返り、多くのことができるようになったことに気づく。			・家庭分野で学習したことをこれからの生活に生かそうとしている。

教科	外国語	学年	第1学年
----	-----	----	------

内容の まとめ り	時数	内容のまとめの到達目標	内容のまとめの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	140	ア はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと		ア 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。
話すこと「やりとり」		ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと「発表」		ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと		ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。

教科	外国語	学年	第2学年
----	-----	----	------

内容のまとめり	時数	内容のまとめりの到達目標	内容のまとめりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	140	ア はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと		ア 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。
話すこと「やりとり」		ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと「発表」		ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと		ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。

教科	外国語	学年	第3学年
----	-----	----	------

内容の まとめ り	時数	内容のまとめの到達目標	内容のまとめの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	140	ア はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと		ア 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。
話すこと「やりとり」		ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと「発表」		ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと		ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。